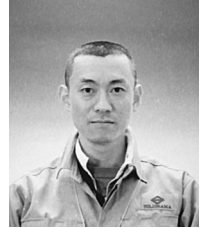


Captain English Course I・II

英語の苦手な生徒に基礎力を与える教科書

田中伸夫



1. Welcome Aboard, “Captain”!!

待望のテキストが教育現場に登場しました。

「英語の基礎力をつけて、使えるようになりた
い学習者をサポートします」——この *Captain
English Course* の看板に偽りはありません。

私は夜間定時制高校に勤務していますが、
ALT とのティーム・ティーチングの後、「ALT
の先生が来る授業は、英語ばかりでよく分からな
い」という不満の声が多い中、1人の生徒が「先
生たち2人が前でペラペラしゃべっているのが気
になってしかたがないよ」と言いました。翌日、
その生徒に出会ったのでよくよく尋ねてみると、
彼女はこう言ったのです。「私だって、先生たち
が何を話しているのか知りたいんだもん!!」

中学校で英語が苦手になってしまった生徒たち
も、外国語への憧憬を抱いているのだという事実
の一端を示すその生徒の言葉は、その後の私の英
語授業研究と運営の強い推進力となっています。

Captain English Course は、新学習指導要領の
教示する「実践的コミュニケーション」能力育成
のための4技能が統合的に学習されるよう緻密な
編集が施されています。以下、各レッスンのフレ
ームワークに沿って、私の所感を述べさせていただきます。

(1) Get Ready

Captain では課のはじめに Listening Comprehension 活動を設けることにより、題材導入時の「注意」力・「集中」力を喚起しています。鮮やかな絵や写真によって生徒たちの関心・意欲はさらに高まるものと思います。

また、生徒たちへの first-approach として、
授業者が事前に用意したいいくつかの質問を投げか
けることは、既成の音声ソフトを活用する前に必
須の指導だと思います。

たとえば、Lesson 4 “Be Your Own Captain”
の Get Ready での JTE’s original questions とし
ては以下のようなものが考えられます。

☆ Look at the picture A.

What do you see in this picture?

☆ Look at the picture B.

Two guys are wearing special sports gear.

What do they play?

☆ Look at the picture C. What is his name?

生徒たちとの一連の Playing Catch in English
に連動させることで、「KONISHIKI さんを紹介
するスピーチ」の聴取作業と CATCH での
Dictation-Task の学習効果は飛躍的に高まるこ
とでしょう。また、*Captain* では本文に入る前に
FOCUS として文法事項をまとめていますが、こ
のように「出航」前に英語のルールを徹底（必要
な装備を補給・点検）しておくことは大切だと思
います。その後、TRY として文法項目の理解度
チェック作業に入りますが、テキストの指示に従
って作業した後、以下のような Pair-Work
Activity も機能すると思います。

生徒1：What time did you get up?

生徒2：I got up at... How about you?

生徒1：I got up at...

(2) Read & Think

本文では、日本語による Questions が提示され

ますが、これは本文を読む前の Scanning-Task と読んだ後の Creative Task の双方として利用できるものとなっています。新出語へのカナ発音表記は、生徒たちの発音アレルギーを和らげるのに役立っています。アルファベットの組み合わせによる単語が出現した時点で挫折している生徒が多いことに気づき、カナ表記をもって生徒たちの発音理解への助け舟としていますが、既成のカナだけに頼ることは限界があり、毎晩「お互いに納得するものを」と、生徒たちと共に表記法を模索している次第です。

(3) For Communication & Your Turn!

本文を読み終えた後、For Communication のコーナーでは発音と重要表現 (Function) のまとめが提示されます。また Your Turn! のコーナーでは、自分の夢についての簡単なスピーチや友だちの悩み相談に答えるタスクなど、自己表現活動を設けています。こうした、英語を使う練習としての議論や意見交換が、各レッスンのパーシャル・ゴールとなっている点は賞讃すべきだと思います。4 技能が有機的にまとまった「活動」に加え、最後に「生徒の皆さん、内容は分かりましたね。それで、あなたはどう思いますか」という問いかけによる「考える」プロセス₁₎を配することで、利用者たちへの統合的アプローチを完遂しているからです。

2. 実際に、Captain を授業で活用して —Let's Write about Your Dream!!


Lesson 4 “Be Your Own Captain!” の本文 (Read & Think) Part 3 から Your Turn! までに 2 時間を充てた授業例をレポートします。

●配当 1 時間目：内容理解のために右上のような補助プリントを利用します。左から右への流れを認識させるよう、従来の逐語訳から脱却し、左右をつなぐ動作語を記号化 (= / ⇒ など)₂₎することにより文意の視認性を与えています。

●配当 2 時間目：ALT とのティーム・ティーチ

LESSON4
Be Your Own Captain! 補助プリント
... Let's make a speech

Part 3

1)P. 38: L1 **When** you graduate from high school,
「君が 高校を卒業する」  you will think ...

2)P. 38: L2 = You don't know about your (own) (future).

3)P. 38: L3 Some of my friends = 「弁護士」
Some = 「FBI 捜査員」 (lawyers)

4)P. 38: L5 And I(KONISHIKI さん) became 「関取」

5)P. 39: L1 But the most important thing = 「君の 努力」 / 「(夢に向けての)」

6)P. 39: L3 After all, you = 「舟長」
「(君の 人生の)」

()月()日()曜日()校時
()年()組()番・氏名()

ングにより、前時学習部分の音声面チェックから入り、KONISHIKI さんのスピーチの核心に迫り、パーシャル・ゴールとして生徒一人ひとりの「過去の夢・将来の夢」スピーチ原稿作成に取り組ませます。

出席点呼時は、ALT に机間を巡っていただき、Brief Warm-Up として Simple-Greeting を行います。その際、生徒一人ひとりの学習到達度に応じた発話を ALT にお願いしておきます。(2～3分)

本時で使用するワーク・シートを配布する際は、JTE or ALT “Here you are.” Ss “Thank you, Sir.” JTE or ALT “You are welcome.” と英語による対応を心掛けます。(2～3分)

続いて、ALT による Model reading については、スラッシュ記入箇所が明示されるよう Slowly & Clearly を心掛け、JTE は、生徒たちの聴き取り不十分な箇所をリサーチ・チェックします。(3分)

Team-Teaching Plan

JTE: TANAKA, Nobuo
ALT: Ryan Lahodiuk

Aims of Today's Lesson: "Let's write about your dream!!"

JTE	ALT	Ss
1)To check the attendance	To Assist JTE, walking thru desks	To reply to JTE's call with greeting
2)To distribute work-sheets for today's lesson	Same as left	To write his/her name on the sheet
3)To walk thru desks, checking Ss' status	Model reading	To listen up carefully to ALT
4)To make sure, pronunciations and intonations	To assist JTE	To listen to JTE & ALT, repeating after both of them
5)To assist Ss' understanding	Question to Ss, "In his speech, what parts are important?"	To think and answer to the question
6)Key-sentences, acquired:	"Dreams are . . . captain of your life."	
7)So let's write about your dream!!		
To explain how to fill in Basic Format for Speech	To walk thru desks, checking Ss' status	To listen up carefully to JTE
To let Ss write down his/her speech, answering to Ss' questions and giving some advice	Same as left	To try to complete his/her own speech

Model reading by ALTに基づき、JTE主導による発音・イントネーション指導に移行します。ALTによるバックアップをいただきつつ、発声トレーニングをし、「まだやんの!？」と生徒たちから苦情が出る程度で、止めておきます。(5分)

いよいよ、本時のメイン・ストリームへ船出してゆきます。

ALTによる質問「KONISHIKIさんのスピーチの中で、彼が最も伝えたい部分は？」に対して、生徒たちは、Scanningを始めます。JTEは、Key-Wordとして“important”を与えます(3分)。

KONISHIKIさんのスピーチの核心を把握できた段階で、ALTが自らの経験に基づき、パラフレイズし、JTEは生徒たちのCatch-Upをアシストします。(5分)

JTEが、テキスト中の「スピーチの構成例」を参考にType-UpしたBasic Format for Speechでの作業手順を解説した後、ALTが、板書にて例示します。生徒たちの作業中、JTE

とALTは、手分けして生徒一人ひとりの質問にしっかり対応し適切な助言を与え、励ましの言葉で心地よい「追い風」を感じさせます。(25分)

Your Turn! 中の「スピーチの構成例」に基づいて左下のようなワークシートを作り、生徒に「書いてみようか」という気にさせます。

ようそろ、ようそろ Full Speed Ahead!!

【参考】

- 1) 「いま、なぜ英語ディベートか」(2000年5月20日講演) 松本 茂
- 2) 『ビッグ・ファット・キャットの世界一簡単な英語の本』 向山淳子/向山貴彦著 (幻冬社)

(たなか のぶお・横浜市立戸塚高等学校定時制教諭)

Captainの指導資料・副教材

◆充実した指導資料

① 教授用指導資料 [3分冊・B5判・定価7,350円]

(1) Teacher's Manual

「英語は苦手」という生徒にどのように教えるかに重点を置いて執筆しました。

(2) 言語活動集

教科書より易しい活動と少し発展的な活動の2種類を、すぐに使えるワークシート付きで用意。

(3) 評価問題集

各課とも「基礎編」と「発展編」の2種類を用意しました。

② 指導用CD [3枚組・定価12,600円]

スロー/ナチュラルの2パターンの速さで録音。

③ 指導用CD-ROM [定価7,350円]

(1)英単語・熟語自動問題作成ソフト (2)教科書本文(含・リスニングスクリプト、原典) (3)評価問題集 (4)本文シート・スクリプトシート・総ルビカタカナシート (5)単語リスト

◆新しい発想による生徒用副教材

① 学習ノート [B5判・定価480円]

「勉強の仕方がわからない」という生徒にも使いやすい、授業中にも使えるノート。教科書の本文・単語、文法解説だけでなく、クイズを通してさらに強固な語彙力を楽しくつけることができます。

② 生徒用CD [定価980円]

教科書本文と新出単語を収録。

Basic Format for Your Speech

①:あいさつ と テーマ

Hello, everyone. My name is _____

I will tell you about my Dreams.

②:子どものころ、_____保育士 になりたかった。

When I was a kid,

I wanted to be a kinder garden teacher.

その理由は、小さい子が"ダンス"がたっ!! だから。

Because I love children.

and I can play with them.

③:今は、_____美容師 になりたい。

Now I want to be a Hair dresser

その理由は、かっこいい!! だから。

Because it is a cool job.

and I like treating hair.

④:お礼を言う

Thank you for your listening.

スピーチのためのワークシート (作品例)